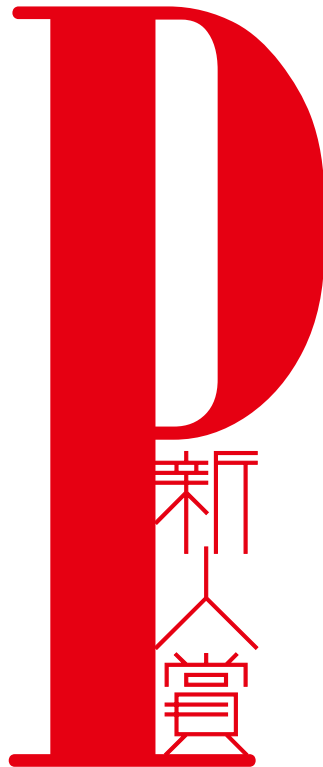


最終選考上演会



P新人賞2019

2020年2月15日(土)18:30 / 16日(日)13:00

前売一般 ▶ ¥2,200 / 当日一般 ▶ ¥2,400

損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール

P新人賞受賞団体

副賞賞金 **200,000円**

2020年度ひまわりホールにて新作公演の招待上演

観客賞受賞団体

副賞「どえりゃー名古屋めしセット」

▶P新人賞とは

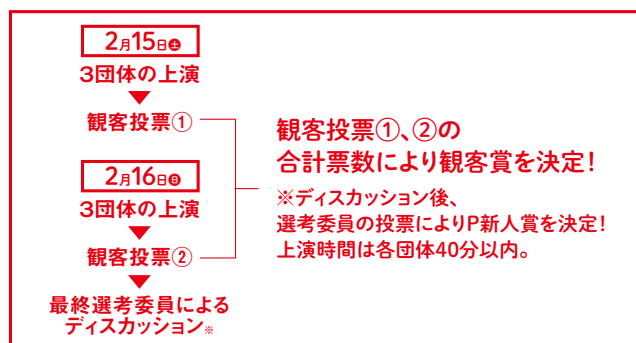
P新人賞の「P」とは、人形劇(PUPPET)のP、オブジェ+身体によるパフォーマンス(PERFORMANCE)の「P」です。人形劇ジャンルの明日を担う斬新な才能を発掘するために開催され、今年で9回目を迎えます。最終選考上演会では、選考委員ディスカッションによりP新人賞1作品を、観客の皆さんによる投票で観客賞1作品を決定!P新人賞受賞団体には副賞賞金20万円、P新人賞観客賞受賞団体には副賞「どえりゃー名古屋めしセット」をそれぞれ贈呈!また、P新人賞受賞団体には2020年度にひまわりホールにて新作の公演を実施して頂きます。

▶最終選考会上演作品

特定非営利活動法人 舞台アート工房・劇列車(福岡県)
『猫の事務所〜ちっぽけなかま猫くんのおっきな一歩』

伊藤 拓次(富山県)
『見わたす限り無限しか見えない』

横山てんこ(genre:Gray)(東京都)
『待つ』



最終選考委員

くすのき燕(演出家、国際人形劇連盟日本センター会長)
小島祐未子(編集者・ライター)
智春(演出家、振付家、肉体演劇作家、クラウン)
水谷イヅル(現代美術家)

実行委員長

木村繁(特定非営利活動法人愛知人形劇センター理事)



地下鉄桜通線久屋大通駅下車、
西改札1番出口西へ徒歩3分
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル19F

▶お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人愛知人形劇センター
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00) FAX 052-212-7309
mail@aichi-puppet.net
※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

文化庁委託事業

「2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催 文化庁、特定非営利活動法人愛知人形劇センター
制作 特定非営利活動法人愛知人形劇センター
協賛 損害保険ジャパン日本興亜株式会社



特定非営利活動法人

舞台アート工房・劇列車(福岡県)

猫の事務所〜ちっぽけなかま猫くんのおっきな一歩



作・演出・舞台美術:かまほりしげる

出演:かまほりしげる、やながなおこ、こがのりこ、米満慶子

演出補助・人形美術・音響プラン:やながなおこ

小道具:こがのりこ 衣装:原律子

上演作品紹介

「猫の事務所」の主人公は、かま猫。皮が薄いためにかまどで寝るから、いつも顔が煤けている。それでほかの猫からいじめられ、差別される。いじめられないために、かま猫は「あたりまえ」の猫になろうとがんばります。かまどで寝ないようにすると、もっと仕事をがんばるとかで。でも、かま猫は自分を好きになれません。自分を嫌いなままで、いじめや差別と闘うことはできるのでしょうか。かま猫が自分を好きになる。そのスタート地点にかま猫をたたせてみたい。そう思ったのです。

劇団プロフィール

2003年結成。2009年NPO法人化。2013年に俳優劇から人形劇に転換しました。「どんなこどもにも劇を!文化を!」との理念を掲げて、創造事業(新作づくり)、普及事業(巡回活動)、体験事業(ワークショップ)の三領域で活動しています。福岡県久留米市とその周辺地域が活動の中心です。働きながらの活動ですから、いつもゆとりがありません。けれども、「劇をこどもに見せたい」というおとなの願いと、よこんでくれるこどもの笑顔に支えられて、ここまでやってこれました。

伊藤 拓次(富山県)

見わたす限り無限しか見えない



演出・振付・美術:伊藤拓次

上演作品紹介

本作で私が意図致したのは、人形に内在する雰囲気と情感を描き出すことです。アルヴォベルトの悲しげな声楽曲と響き合い、人形の動きの一つ一つから情感が溢れ出し、生々しい人間的なダンスが展開して行くよう振り付け演出致しました。不安と嘆きが情熱と渾然一体となり、人形に内在するものが美しく描き出されましたら、幸いです。

劇団プロフィール

1998〜2000年にFinlandのダンスシアター Raatikkoで踊る。帰国後、新国立劇場等でコンテンポラリーダンス作品を創作発表。2015年より人形を製作。2017年黒部市美術館「素材の息吹」のオープニングで人形のダンスを上演。2018年ギャラリー無量で本郷仁氏の個展「あるものと、なきもの」において本作を初演。2019年富山市民プラザで本作を改定再演。

横山てんこ(genre:Gray)(東京都) 待つ



原作:太宰治 原案:横山てんこ
作劇:黒谷都 美術・演者:横山てんこ

上演作品紹介

本作は太宰治作の小説を、モノと身体、衣装を遣って「モノ語り」に変容させ、その心象を描き出そうとしています。西瓜を抱えた女は、毎日誰かを迎えに行く。誰を、何を待っているか分からぬまま、女は待ち続ける。「待つ」という無限に繰り返されるしじまのなかで、西瓜はいつか女の本性を語り始め、女は、そしてあなたは、「喪われた時間」に出会う。憧れ、純潔、絶望…「あなたはいつか私を見かけろ」

劇団プロフィール

養成所・劇団を経て、役者をしながら美術も担当。2017年より自ら人形を作り操演することを志し、黒谷都氏の門を叩く。現在、genre:Gray国立ラボ研修生。genre:Grayは、黒谷都が「利己的物体と奉仕的肉体によるグロテスク」として提案し模索している「人形/モノと遣い手」が共に且つ多様に存在する視覚的表象行為を探る者たちの集い。命なきモノに命の痕跡を見つけ、そのモノの「生き還る束の間」を重ねて「モノ語り」を創りだそうとしている。

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター

TEL 052-212-7229(平日10:00〜18:00)

FAX 052-212-7309 mail@aichi-puppet.net

※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

P新人賞特設ページ

http://aichi-puppet.net/p_newface/



これまでのP新人賞受賞団体

- P新人賞2011 PuppetTheaterゆめみトランク『やぎのおはなし』(愛知県)
- P新人賞2012 人形劇団ネンネムネムネむり鳥『幽霊(ネムリドリ・ゴースト・ストーリー)』(東京都)
- P新人賞2013 banko(バンコ)『さなぎのとき』(神奈川県)
- P新人賞2014 ベビー・ピー『山ぐるみ人形劇 桜の森の満開の下』(京都府)
- P新人賞2015 人形劇団望ノ社『DEBRIS』(栃木県)
- P新人賞2016 影の色彩ワンプロジェクト『夜叉が池』(石川県)
- P新人賞2017 劇団オレンヂスタ『MANGAMAN』(愛知県)
- P新人賞2018 人形劇団LimLim『空き地のおうち』(愛知県)